

テレワーク× uCosminexus Application Server V11

HITACHI
Inspire the Next

クラウドサービスで、お客様のシステム運用のテレワーク化・効率化・コスト最適化を容易にします

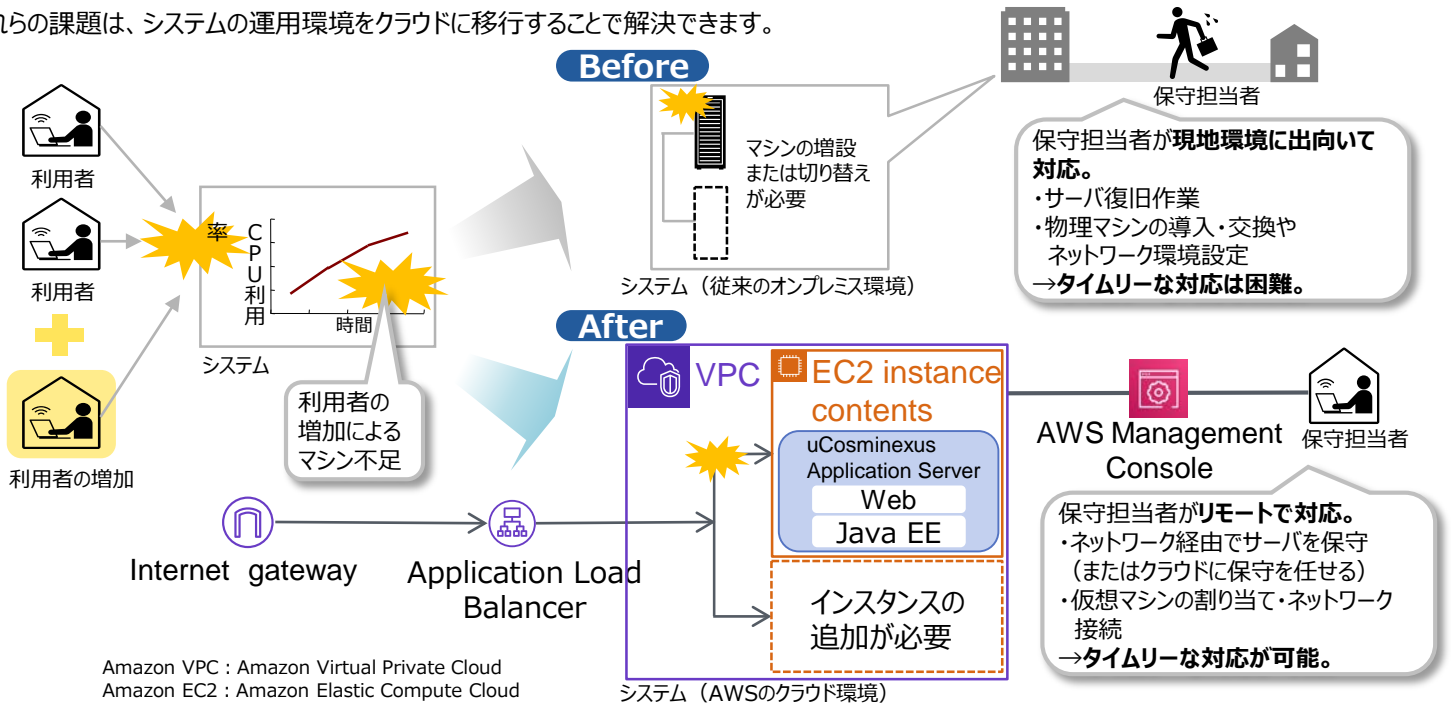
withコロナの働き方としてテレワーク化が進み、リモートのシステム運用の効率化が求められています。また、お客様のIT投資コスト最適化のためには、同時に運用コストの最適化も必要になります。

Step1 クラウドサービス活用でテレワークでのシステム運用を容易にします

オンプレミス環境でのシステム運用には、マシン不足やマシン障害が発生した場合に、例えば、次のような課題があります。

- 課題① 保守担当者が現地環境に出向く必要があるため、**タイムリーなマシンの増設や保守作業（サーバ復旧など）が困難。**
- 課題② 感染症によるパンデミックの影響で、**保守担当者の派遣そのものが困難。**

これらの課題は、システムの運用環境をクラウドに移行することで解決できます。



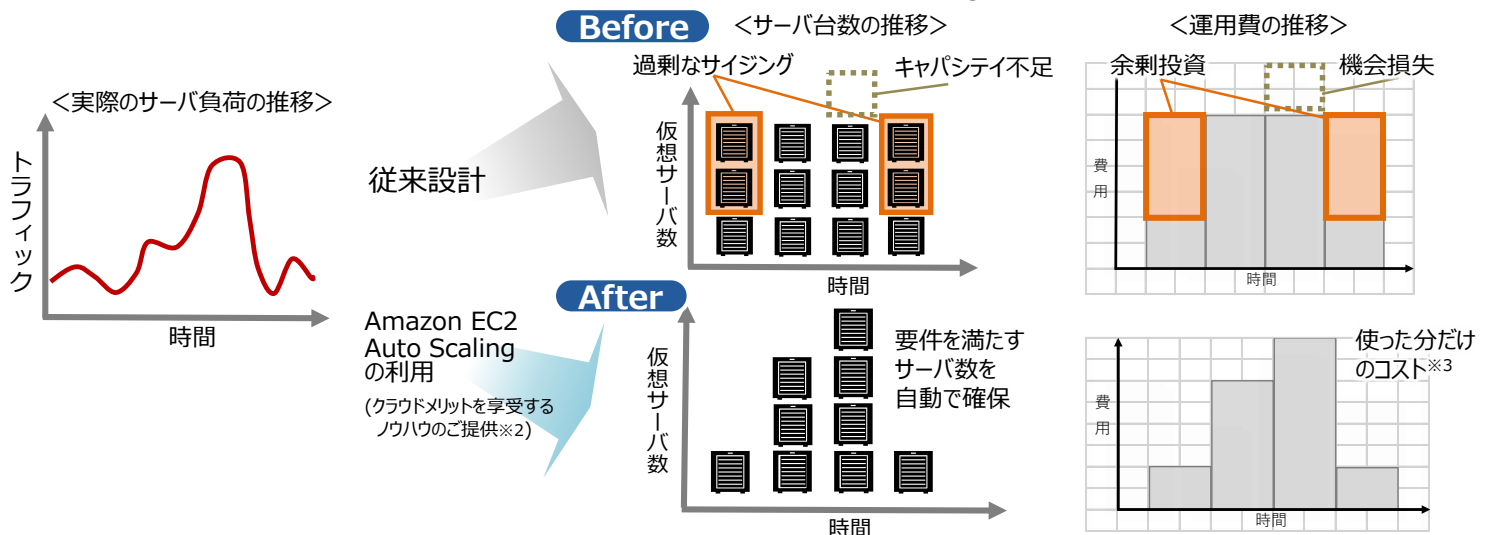
Step2 Amazon EC2 Auto Scalingの活用でシステム運用のテレワーク化を加速します

クラウドサービスの一つであるAmazon EC2 Auto Scaling^{※1}を活用して負荷変動への対応を自動化することで、保守担当者の運用負荷低減とテレワーク化を推し進めます。オンプレミス環境でのシステム運用には、Step1でご紹介した例以外にも、次のような課題があります。

※1 アクセス増減に柔軟に対応するためのAWSのAPサーバの追加・削除方式

- 課題① 固定的なサイジングにより、想定外の負荷でビジネスの**機会損失**が発生する可能性がある。
- 課題② 固定的なサイジングにより、コスト（余剰投資）の**低減が困難**。

これらの課題は、システムの運用環境をクラウドに移行した上で、Amazon EC2 Auto Scalingを活用することで解決できます。



※2 構築ガイド、意識して設計すべき設定、構成例など ※3 オンデマンド・ミドルウェアサービス for Amazon Web Servicesの適用

Amazon EC2 Auto Scalingを活用したシステムでは、負荷の変動に追従して柔軟にサーバを運用できます。そのため、想定外の負荷によるシステムの停止と、それに伴うビジネス機会の損失を回避できます。また、それを実現する保守作業を効率化し、保守担当員の運用負荷を軽減できます。さらに、余剰投資を削減できます。

Step2の実現をサポート Amazon EC2 Auto Scalingの活用を支援するノウハウをご提供します

uCosminexus Application Serverでは、Amazon EC2 Auto Scalingへ対応するための環境設定のノウハウをホワイトペーパーでご提供しています。検証なしで最適な設計が可能になりますので、ぜひご利用ください。例えば、次のようなノウハウを掲載しています。

一般的に、アプリケーションサーバをAmazon EC2 Auto Scalingに対応させる場合、環境設定時に考慮すべき点があります。

- 考慮すべき点① IPアドレス動的変化への対応
- 考慮すべき点② ログ管理への対応
- 考慮すべき点③ ステートレス

スケールイン時の環境設定のノウハウ

前提… Amazon EC2 Auto Scalingによるスケーラビリティを考慮すると、どのEC2インスタンスでも処理できることが望ましい。

① IPアドレス動的変化への対応

×アクセス先が不明に…
→ ✓構築時に特定IPアドレスに依存しない設定

② ログ管理への対応

×スケールイン時にログも削除に…
→ ✓ログを外部ストレージへ退避

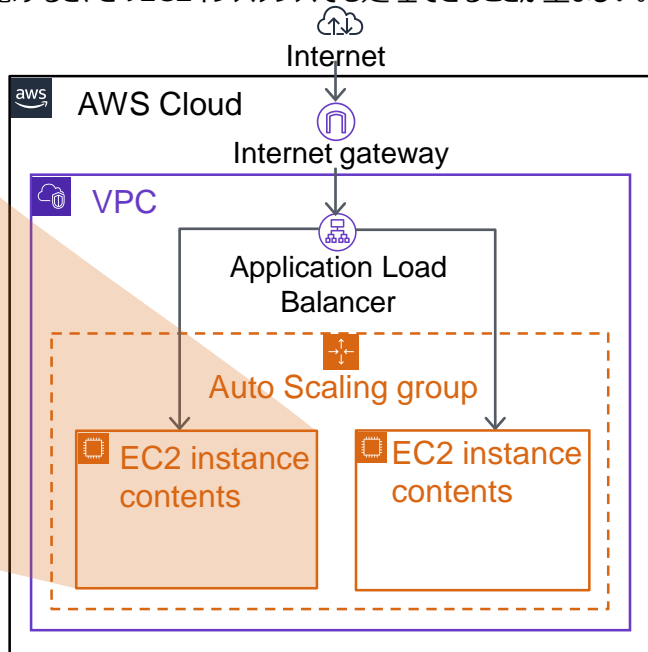
③ ステートレス

×情報状態を喪失してしまう…
→ ✓セッションを使用しないアプリケーションに制限

EC2 instance contents
10.xxx.yyy.zzz



SessionID



Amazon EC2 Auto Scalingへ対応するための環境設定のノウハウをホワイトペーパーでご提供

<https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/cosminexus/apserver/document/index.html#apsguide1100>

価格・動作環境

| 製品名 | 製品概要 | 価格(税抜) | 動作環境 |
|--------------------------------|--|-------------|---|
| uCosminexus Application Server | アプリケーションサーバ JavaEE準拠のWebアプリケーションサーバの実行基盤を中心に、Webアプリケーションの実行、運用に関わる機能を提供します。パッケージ名変換機能により、Jakarta EEへの対応も可能です。 | ¥ 1,320,000 | Windows Server® 2022 Windows Server® 2019 Red Hat Enterprise Linux 9/8/7 AIX V7.3/ V7.2/V7.1 |
| uCosminexus Developer | Javaアプリケーション開発環境 Webアプリケーションやバッチアプリケーションの開発からデバッグまでをトータルにサポートする開発環境です。 | ¥ 55,000 | Windows Server® 2022 Windows Server® 2019 Windows® 11 Windows® 10 x64 |

- ・ uCosminexus Application Server、uCosminexus Developerは、経済産業省が2003年度から3年間実施した「ビジネスグリッドコンピューティングプロジェクト」の技術開発の成果を含みます。
- ・ Amazon Web Services、AWS、Powered by AWS、および、Amazon Elastic Compute Cloud、Amazon EC2、Amazon Virtual Private Cloud、Amazon VPCは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- ・ Windows、Windows Serverは、マイクロソフト 企業グループの商標です。
- ・ Red Hat、and Red Hat Enterprise Linux are registered trademarks of Red Hat, Inc. in the United States and other countries. Linux® is the registered trademark of Linus Torvalds in the U.S. and other countries.
- ・ IBM、AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。
- ・ その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
- ・ 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品の導入に関するご相談は、下記の連絡先までお問い合わせください。

HCAセンター

(Hitachi カスタマ・アンサ・センター)



0120-55-0504

利用時間

9:00～12:00

13:00～17:00

[土・日・祝日・弊社休日を除く]

uCosminexus Application Server
トップページ

<https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/cosminexus/apserver/index.html>



※個人情報保護ポリシー(<https://www.hitachi.co.jp/soft/privacy>) に同意の上ご連絡下さい。

インターネットで製品情報がご覧いただけます。

- <https://www.hitachi.co.jp/cosminexus/>
- <https://www.hitachi.co.jp/cosminexus/apserver/>

■ このリーフレットは、2023年12月現在のものです。製品の仕様、標準価格などは、変更することがあります。

© Hitachi, Ltd. 2023. All rights reserved.

2023.12